

自己点検・自己評価報告書

令和 5 年 3 月 31 日現在

北京語言大学東京校

令和 5 年 5 月 30 日作成

目 次

第 1 設置者及びマネージメント

第 1 設置者及びマネージメント 1

基準 1 理念・教育目標 1

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか 1

1-2 教育目標が明確に定められているか 2

1-3 学校の将来構想を抱いているか 2

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか 2

第 1 設置者及びマネージメント 4

基準 2 組織 4

2-1 組織体制 4

2-2 教員組織 5

2-3 事務組織 5

2-4 採用と育成 6

第 1 設置者及びマネージメント 7

基準 3 財務 7

3-1 財務状況 7

第 1 設置者及びマネージメント 8

基準 4 教育環境 8

4-1 校地・校舎 8

4-2 施設・設備 9

第 1 設置者及びマネージメント 11

基準 5 安全・危機管理 11

5-1 健康・衛生 11

5-2 危機管理 11

第 1 設置者及びマネージメント 13

基準 6 法令の順守等 13

6-1 法令の順守 13

第 2 運営に関する事項	15
---------------------------	----

基準 7 運営全般	15
------------------------	----

7-1 組織的な運営	15
------------------	----

7-2 納付金	16
---------------	----

7-3 情報の共有化及び発信	16
----------------------	----

第 2 運営に関する事項	18
---------------------------	----

基準 8 学生募集	18
------------------------	----

8-1 募集方針	18
----------------	----

8-2 募集活動	19
----------------	----

8-3 入学選考	20
----------------	----

第 2 運営に関する事項	21
---------------------------	----

基準 9 教育活動	21
------------------------	----

9-1 教育計画	21
----------------	----

9-2 実施	22
--------------	----

9-3 成績判定	24
----------------	----

9-4 授業評価	24
----------------	----

第 2 運営に関する事項	26
---------------------------	----

基準 10 学生支援	26
-------------------------	----

10-1 支援体制	26
-----------------	----

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援	26
-------------------------------	----

10-3 生活面における支援	27
----------------------	----

10-4 進路に関する支援	28
---------------------	----

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援	29
------------------------------	----

第 2 運営に関する事項	31
---------------------------	----

基準 11 教育成果	31
-------------------------	----

11-1 成果の判定	31
------------------	----

11-2 卒業生の状況の把握	31
----------------------	----

第1 設置者及びマネジメント

基準1 理念・教育目標

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定められており、学生生活スタートブックや新入生オリエンテーション、各学期履修登録にて、学生に周知を行っている	
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	1年次のグローバル人材育成科目、3年次のキャリア科目では、理念・目的・育成人材像を踏まえたシラバスにて教育が行われており、中国語関連科目でも教育理念に基づいて指導が行われている	現在、理念・目的・育成人材像について在校生及び卒業生の到達度の検証を進めている
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	毎年、内容見直しの検討を行っている	
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員会議、研修にて教職員に周知されており、ホームページにて学外にも公表、学生募集においても本学の理念・目的・育成人材像が紹介されている	

1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	コミュニケーション能力重視の中国語教育、北京本校への留学制度、多国籍学生によるグローバル環境での学習、専属キャリア指導員による手厚いキャリア・就活指導などの特色がある	現在、中国人材の育成という大きな括りの中で、人材育成していくことにも取り組んでいる

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5 年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	長期ビジョン、中期事業計画が策定されているが、社会情勢の変化や学生のニーズを参考に中期的構想の見直しを行っている	日本の文部科学省や中国教育部の方針変化などにも注意し、随時対応を行っていく

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	教職員全体会議、教員研修を定期的に行い、運営方針の共有化が図られている	

総括	課題及び改善内容
●教育理念と中国人材の育成 本学の教育理念は、本学の学生が将来社会に出て活躍していくための項目が網羅されており、1 年次のグローバル人材育成科目、3 年次のキャリア科目、中国語関連科目、課外講座などにおいて、育成人材像の実現に向けた具体的な授業が展開されている。また現在、本学卒業後に社会で有用な中国人材として活躍できるよう、中国人材としての育成教育にも力を入れている。	●教育理念・教育目標・育成人材像 本学の教育理念・教育目標・育成人材像に本学学生がどのくらい到達しているかについて検証作業の取り組みを開始している。 ●将来構想 社会情勢の変化、学生のニーズ、日本の文部科学省や中国教育部の方針変化に絶えず気を配り、それらの要素を踏まえて将来構想の見直しを図っていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準 2 組織

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

2-1 組織体制

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-1-1 設置代表者及び経営担当は基準要件に適合しているか	5	基準要件に適合している	
2-1-2 事業規模に応じた組織体制になっているか	5	人材の確保育成により、事業規模に応じた管理体制、教職員体制となっている	
2-1-3 受入れする学生の言語対応可能な組織になっているか	4	本学では、英語、ベトナム語、中国語での即時対応が可能となっており、他の言語についても ISI グループの協力を得て対応ができるようになっている	左記以外の言語対応については ISI グループと共同で進めており、今後も迅速な対応に努めていく

2-2 教員組織

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	5	基準要件を備えている	
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	4	各々の職務内容及び責任と権限が明確に定められている	本学の発展に伴う業務拡大があり、適時職務内容及び責任と権限の明確化を行っていく
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌と責任がステージごとに明確にされている	本学の発展に伴う業務拡大があり、適時業務分掌や責任の明確化を行っていく

2-3 事務組織

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	5	生活指導担当、入管事務担当を含み、各業務の担当者が特定されており、職務内容、責任、承認プロセスも明確に定められている	
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	4	各業務の担当者が概ね学生や教職員に周知されている	本学の発展に伴う業務拡大があり、担当者の変更や修正についても周知を徹底していく
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	5	有資格の担当者を配置している	
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌と責任がステージごとに明確になっている	本学の発展に伴う業務拡大があり、適時業務分掌や責任の明確化を行っていく

2-4 採用と育成

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	5	管理者、教員及び事務職員の採用制度は整備されている	
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	本学の必要に応じて人材の確保を行い、人材育成の研修も行われている	本学教育を質が高い状態で保持していくため、定期的な教職員の採用が必要となっている。また新たな人材への育成研修も行っていく
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	5	人事評価制度が整備されている	
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	5	昇進昇格制度が整備されている	
2-4-5 賃金制度は整備されているか	5	給与規定が整備されている	

総括	課題及び改善内容
●採用と育成 2022 年度は中国人材育成を目指し、中国ビジネス最前線で活躍する講師を採用。また拡大するさまざまな講座を担当する講師も採用することができ、本学教育理念及び中国人材育成のための組織が強化された。	●人材育成 多様化する本学の教育プログラムに合わせ、さらなる各担当科目の教員育成が必要になっていきている。そのため、次年度からより計画的で有効な人材育成を行っていくとともに、定期的な教職員採用も引き続き行っていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準3 財務

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

3-1 財務状況

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	4	新型コロナウイルス感染症による影響が22年度も続いていたが、中長期的には安定した財務状況となっている	本学の強みを生かした課程を設置し、学生確保及び事業拡大を図り、さらなる財務状況の安定を図っている
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	有効かつ妥当なものとなっている	
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5	適正に行われている	

総括	課題及び改善内容
●財務全般 2022年度は本学の強みを生かした課程を増やし、そこからの成果が本学財務状況安定化の一助となった。23年度からも様々な課程を設置し、運用していくことでさらに財務状況の安定化を図っていく。	●財務状況 社会的に光熱費高騰があり、本学予算にも影響を与えたが、経費削減方策の実施、予算の見直しを図り、影響を少なくしていく。

第1 設置者及びマネジメント

基準 4 教育環境

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

4-1 校地・校舎

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	交通の便が良い池袋に立地し、最寄り駅からも近い。また繁華街からは距離があり、教育環境に適した位置にある	
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	4	教育活動を安定的に継続していくための校地校舎が整備されている	学習課程の多様化に伴い、校地校舎の再整備を引き続き検討していく
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	5	校舎面積は基準に適合している	
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	4	防災に対する体制は整備されている	継続的に防災教育や防災訓練を行っているが、今後も防災体制の見直しや改善に努めていく

4-2 施設・設備

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	5	基準に適合している	
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	4	十分な照度と換気がされている。感染症予防に対しては、常時換気システムを稼働させ、教室ドアや防災用換気窓の利用により、空気の入れ替えを行っている	教室ドアや換気扇の開閉状況を確認し、適切な換気に努めていく
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	4	一部の教室にて遮音性が高くないところがあるが、概ね教室の遮音性が確保されている	使用教室や使用時間の調整を行うことで、遮音対策を今後も行っていく
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分に確保されているか	5	自習スペースが十分に確保されている	
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	教育内容及び学生アンケート調査結果応じて、図書メディアを毎年整備している	23年度より図書室利用を通常利用に戻し、学生たちが有効利用できるようにしていく
4-2-6 視聴覚教材や ICT 教育の設備が整備されているか	4	整備されている。22年度に機器の入れ替えを行い、円滑に利用できるようになった	今後も教育機器に不具合が生じた場合、すぐに不具合が解決できるよう努めていく
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	5	確保されている	
4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	4	学生数に応じたトイレが設置されているが、階により設置数に偏りがある	トイレの設置数については今後も検討を行っていく
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	5	法令上必要な設備が備えられている	
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか	5	廊下及び階段は、緊急時に危険がない形状になっている	緊急時に危険な状態にならないよう、引き続き防災訓練を行っていく

4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	3	手すりや専用トイレなどの設置はないが、段差がない建物を校舎としている	今後、対策を検討していく
4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	3	毎日、校内清掃が行われ、感染症予防の消毒も行い、清潔及び感染症防止の管理がされている	清掃会社の人員不足により清掃作業の不備が見られることがあったが、23 年度より清掃作業の見直し改善がされる予定である

総括	課題及び改善内容
●教育設備 22 年度に視聴覚設備の入れ替え、教室の PC 入れ替えを行い、教育設備の不具合が減少した。教育設備を使用する教職員が取り扱いに問題が生じないよう、指導を引き続き行い、円滑に教育設備が使用できるようにしていく。	●図書室利用 アフターコロナ化で図書室の利用や学校図書の利用における利便性を高めるために図書管理、新規図書購入、利用方法の見直しなどを 23 年度から取り組んでいく

第1 設置者及びマネジメント

基準 5 安全・危機管理

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

5-1 健康・衛生

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	4	本学にて定期的に健康診断を行っており、また健康不安、精神不安を支援する体制が ISI グループで整えられた。	ISI グループによる健康不安、精神不安を支援する体制ができたため、具体的な対応方法等について検討構築していく
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	本学留学生性たちも適切な健康保険に加入している	一部の留学生に健康保険の有効期限切れが生じないよう、確認作業を今後も行っていく
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	5	感染症による公欠、再登校の規定が定められており、また感染症発生時の措置も考えられている	

5-2 危機管理

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-2-1 危機管理体制が整備されているか	4	各種問題についての対応、管理体制が整備されている	問題発生時の対応について教職員の理解をさらに深め、対応訓練を継続していく

5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	5	定めている	
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めているか	5	警報が発令された場合の措置を定めており、学生生活スタートブックにて学生に周知をしている	
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に実施しているか	4	防災訓練（避難訓練）を年 2 回定期的に実施している。	アフターコロナ化の避難訓練内容や実施方法について今後検討実施していく
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	5	防災用工具、保存水、保存食、簡易トイレ等が備蓄されている	

総括	課題及び改善内容
●留学生の健康保険 留学生たちの健康を守るため、また留学生たちが日本で就職をし、就労ビザを取得していくためにも健康保険への加入は重要事項であり、保険加入の指導を行ってきた。現在ほぼ加入をしているが、健康保険の有効期限切れにならないよう、さらに指導を強化していく。	●保健師巡回 ISI グループにて保健師の巡回が可能となり、健康不安や精神不安の学生たちへの支援が強化された。今後、具体的な支援策や学生フォローについて協議検討し実行していく

第1 設置者及びマネジメント

基準6 法令の順守等

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

6-1 法令の順守

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がされているか	5	法令や設置基準を順守し適正な運営を行っている	
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5	教職員会議にて定期的に個人情報保護について「個人情報保護規定」について確認し、遵守させている。学生には学籍履修登録時及び学生生活スタートブックで定期的に注意喚起を行い、問題が生じそうな場合は、適宜学生指導を行っている	
6-1-3 入管・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	滞りなく行っている	
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	2018 年度より自己点検自己評価を行い、毎年問題点の確認及び改善を行っている	短期的に改善が図れるもの、改善まで長期間かかるものを分け、それぞれ適時改善を図っていく
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	5	ISI グループ校として結果を公開している	

総括	課題及び改善内容
●個人情報 本学からも学生たちからも SNS による情報発信が増えてきており、個人情報保護のため、発信情報のチェックや確認を行ってきている。今後も重要確認事項と認識し、チェック機能を強化するとともに、学生たちへの情報保護やトラブル防止についての指導も強化していく。	

第 2 運営に関する事項

基準 7 運営全般

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

7-1 組織的な運営

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	4	明確な長期ビジョン、中期事業計画、年度事業計画があり、教職員に周知されている	本学の発展に伴い、様々な課程が設置されてきているため、都度教職員への周知を図っていく
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	5	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がされている	
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	5	確立されている	
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	4	ISI グループの明確な執行ルールのもと、適切な予算編成が行われている	組織体制やシステム変更などがあっても、適切な予算編成や執行ルールが明確であり、問題なく執行できるよう努めていく
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	4	ISI グループ各部門からのサポートを受け、定期的に業務の見直し、効率的な運用の検討が行われている	本学の発展に伴い、様々な課程が設置されてきているため、業務の見直し、効率的な運用を組織的に適時行っていく
7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システム化等による業務の効率化が図られている	情報システムの変更があっても、業務効率が低下しないよう教職員の理解や習熟度を上げていく

7-2 納付金

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	学生募集要項により明示されている	
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	5	学生募集要項により明示されている	
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	学生募集要項及び学生生活スタートブックにより規定が定められ、公開されている	

7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	4	各業務担当が外部の情報を入手し、組織内で共有、経営に生かしている	外部情報をさらに有効的に活用できるよう努めていく
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある	共有された情報が有効的に活用されるように努めていく
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	本学ホームページ、学生募集要項、学生ポータルサイト等で日本語以外の言語も使用し、適切に情報提供を行っている	適切でより迅速に情報提供を行っていけるように今後も努めていく

総括	課題及び改善内容
●情報提供 2022 年度は今まで以上に適切で迅速な情報提供がされたが、適切な情報把握に今後も努め、さらに学生たちに適切で迅速な情報提供を図っていく	●業務の見直し 本学の発展に伴い、様々な課程が設置され、担当業務の見直し、効率的な運用について変更や修正が必要となっているため、適時調整や見直しなどを行い、業務の効率化を図っていく

第2 運営に関する事項

基準 8 学生募集

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

8-1 募集方針

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	5	理念・教育目標に沿った受入方針を定めており、説明会・個別相談会にて志願者に伝えている。また日本人学生・留学生それぞれにおいて年間及び月間募集計画を策定している	留学生の場合、日本語力に問題がある場合もあるが、理念や教育目標に沿った学生を受け入れるように、今後も引き続き努めていく
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	5	日本人学生、留学生ともに募集定員の範囲内で募集活動を行っている	
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	入学相談等で使用する資料は、広報担当と教職員が摺合せを行い、正しい認識の上で説明をしている。また新人スタッフも研修・個別トレーニングを行い、学校情報を正しく認識した上で入学相談を行っている	23 年度以降、募集担当職員が教員、事務職員、学生たちから最新の校内情報を得たうえで、情報提供ができるよう、校内にデスクを構え、常駐する体制にしてい

8-2 募集活動

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	HP・パンフレット・SNS などにおいて日本語、英語、韓国語、ベトナム語での情報開示がされている	本学留学生向けサイトについて留学生がより見やすくなるよう、23 年度にサイトの再構築、多言語展開を図っていく
8-2-2 求める学生像を明示しているか	5	HP・パンフレット・説明会資料において求める学生増を明示し、説明の際にもどのような学生が入学後に成功するか実績を踏まえた上で、アドミッションポリシーを説明している	
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	4	日本語以外、英語や韓国語、またベトナム語でもHP・説明資料にて説明対応をしている	今後、さらに他言語での対応にも努めていく
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	5	各国・地域の法令を遵守した募集活動をおこなっている	
8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	4	韓国代理店向け資料・募集要項を韓国語で提供している	今後、他言語による募集要項も提供していくことで、さらなる多方面への情報提供を目指していく
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	4	各国代理店が本学の状況を把握した上で、適切な募集活動を行っている	今後、代理店に本学の最新情報を迅速に伝え、募集活動がより適切になるように努めていく

8-3 入学選考

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	学生募集要項に選考方法や求める人物像、出願資格等正確に明示している	本学が求める学生のイメージがより正確に受験希望者に伝わるように取り組んでいく。また今後も北京本校と密に連携を取り最新の出願資格を明示する。
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	出願書類を詳細に確認し、また入試面接時に信憑性の確認を行っている	出願者の提出書類に正確さや信憑性が見られない場合、追加提出の要請を行うようにし、小さな疑問も残らないよう、よりの確な選抜を行っていく
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	4	入学選考の体制が整備されている	入学選考の基準について教職員間での共有をより強化し、どの職員が担当しても同じような基準で選考できるようにしていく
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	5	出願書類や入試面接にて確認をしている	出願書類に少しでも不明な点がある場合面接時にしっかりと確認を行う

総括	課題及び改善内容
●学生募集活動 22 年度も感染症の影響を受け、日本人学生においても留学生においても学生獲得が厳しい 1 年間であった。しかし、本学の中国語教育については、日本人学生及び留学生から高い評価を得ており、中国語をしっかり身につけたいという目的意識が明確で意欲が高い学生たちが集まってきている。	●募集担当 感染症が収束に向かい、世界情勢や中国の情勢にも変化があり、また北京本校の動向などに注意を向け、状況に合わせた情報提供を志願者に行っていくことで、より志願者が満足し、募集活動の成果も上がるように努めていく。 ●留学生募集 感染症の収束により留学生志願者の増加が今後予想されるが、留学生として適格な人物であるかをしっかり見極め、日本人学生たちと切磋琢磨できる留学生の受け入れを今後も進めていく。

第2 運営に関する事項

基準 9 教育活動

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

9-1 教育計画

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	5	本学は、中国語＋専門知識＋国際的視野を武器に、主体性を持って自ら思考、問題解決を図れる人材の育成を目指しており、それに合致したコース設定が行われている	
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進捗設計がなされているか	5	本学では、全科目で理念・目標の達成を念頭に置いた教育内容としており、それに沿った進捗設計をしている	
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	5	北京語言大学は、世界最高峰の中国語教育機関であり、中国語教育におけるリーダーの役割を担っている。東京校も教育計画やカリキュラム等そのすべてを北京語言大学本校に倣っている	
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	5	同一科目の授業が複数存在している場合は、授業内容・進捗・試験などで業務の分担や共有がおこなわれ、共通理解が得られている	
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	5	中国語科目は北京本校のカリキュラムを踏襲しており、カリキュラムは体系的であり、内容も十分である	

9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	5	本学は、北京語言大学北京本校と同じ教材を使用しており、教育目標に合致している	
9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	4	上述のように、北京本校に倣った教材を使用しており、十分に留意されている	各教員が生教材を使用する際も、出典を明示し、著作権法に抵触しないよう徹底していく
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	5	担当科目を依頼した後、本学に蓄積された情報や過年度分の副教材、該当科目の最新情報、クラス状況など、すべてを担当教員に提示している	
9-1-9 教員配置が適切になされているか	4	教員一人一人の専門性を把握し、その専門性が活かせる配置を行っている。また、定期的を開催している勉強会により教員育成を行っており、その成果からも教員配置を適切に行っている	本科課程以外の課程についても、教員育成を強化し、適切な教員配置を行っていく

9-2 実施

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	5	英語や日本語のプレイスメントテスト、中国語既習者には入学時までに能力チェックを行い、適切なクラス編成を行っている	
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	5	学生指導上に必要な情報は、担当教員に事前に伝達している	
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	4	全ての教員が北京本校指定様式でシラバス作成をし、それに則った授業が行われており、学生にもシラバスが提示されている	進度の違いが出てくることもあるため、進度のコントロールと管理を引き続き行っていく

9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	5	修了要件は学則により定められ、学生生活スタートブックに明記され、学生に明示している	
9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	4	科目により PC 教室や各教室内の教育用機器を活用している	感染症拡大中に一部の機器に老朽化が見られたため、23 年度に機器の入れ替えや修復を行う
9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	4	出席記録、授業記録を正確に行っている	授業記録の記載内容や方法について改善を行い、定期的なチェックを行っていく
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	5	適切な区切りで理解度や到達度の確認を行うとともに、定期テストによる確認も行われている	
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	4	学生による授業評価アンケートには、自己評価部分もあり、その結果や学生面談、通常授業の様子から把握している	学生の自己評価については、担当する教職員にて共有を図り、学生指導に引き続き活かしていく
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	4	担任教員により個別フォローが行われている	本学組織として支援体制の再構築を検討していく
9-2-10 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	5	授業に関する相談や苦情などは、学生サービスセンターが受付、適切かつ迅速に対応している	
9-2-11 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	5	入学時にオリエンテーションにて担任教員、事務方の担当者を紹介している。また留意点について文書化された学生生活スタートブックを配布するとともに、その内容について資料を見せながら説明を行っている	
9-2-12 留学生生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	4	入学時オリエンテーション時に留学生に留学ビザ担当者を紹介し、留学生生活や入管法上の留意点について資料配布と説明を行っている	引き続き留学生にわかりやすい日本語でシンプルに説明すること、場合によっては媒介語を使っていくことを進めていく
9-2-13 HSK、JLPT の指導体制はあるか	4	それぞれの科目において受験指導、対策練習を行い、有効な指導を行う体制がある	留学生のキャリア育成強化のため、JLPT の指導強化を今後進めていく

9-3 成績判定

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	5	成績判定は、平常点、中間試験、期末試験による評価を総合判定している。この基準や方法は、学生生活スタートブックにて定められ、開示されている	
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	5	定期テスト終了後 1 週間以内にシステム上にて成績発表を行い、判定結果の見方も指導することで、的確に伝わっている	
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	5	期末テスト作問前に、過年度分の反省点などを共有し、毎回修正をはかっている	

9-4 授業評価

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	5	定期的に学生による授業評価アンケート、校長や主任教員による授業見学で評価を実施している	
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	5	評価に際しては統一の評価シートを用い、評価者の主観で変わることのないよう配慮されている	
9-4-3 学生による授業評価を定期的に実施しているか	5	毎学期、学生による授業評価アンケートが実施されている	
9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	5	授業評価アンケートや授業見学の結果は、担当教員にフィードバックされ、指導的立場にある常勤教員から具体的な改善点やアドバイスもされている	

総括	課題及び改善内容
● 社会人向け講座 社会人向けの一般中国語講座は、入門から高級まで学習できるクラス設定ができ、学部の授業方法を活かした中国語教育を行っている。また中国文化、歴史、最新中国ビジネスなどをテーマとした公開講座を定期的に関き、本学ならではの社会貢献を行っており、今後も継続していく予定である。 ● 中国語教育公開講座及び教員研修 22 年度も中国語教育のリーダー的存在である北京語言大学として、日本の中国語教育にも貢献していくため、東京校の教員が中心となり、北京本校の協力も得ながら、中国語教育公開講座（一般中国語教員向け）、中国語教員研修（高校中国語教員向け）を実施。23 年度以降も継続実施していく	● 教員育成 23 年度以降も各種中国語コースの開講、本科教育の充実に伴い、中国語教員及び他教科教員の育成を強化していく ● 中国人材育成 本学 4 年間の充実した中国語教育で本科学生たちは中国語をマスターしているが、さらに中国への理解を深め、将来中国人材として活躍できるよう、さまざまな文化理解、異文化対応力、中国事情知識、ビジネス知識、ビジネス対応できる通訳翻訳能力などを身につけることができる教育内容を整備していく。

第2 運営に関する事項

基準 10 学生支援

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

10-1 支援体制

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	4	年度の事業計画、業務計画、学友会支援計画を通じて学生支援計画を策定し、支援体制を整えている	突発的事象にも迅速かつ柔軟に対応できるよう、体制を強化する
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	4	担任教員及び学年指導員を窓口となり、休日や長期休暇中も学生対応が行えている	対応フロー、対応法などが常に均質となるよう、教職員全体に徹底を図る

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	入学前及び入学直後に合計3回のオリエンテーションを実施している	
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	5	大学での生活、日本社会における規律や社会道徳等、生活全般に関するオリエンテーションを行っている	

10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	4	豊島区主催の国際交流会や様々なイベントに参加している	更に多くの学生が地域活動に参加できるよう、各種イベントの案内方法に工夫を加え、周知する
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	5	対面及びオンラインでの中国語講座を年間通じて開講しているほか、本学による文化講座を定期的に公開し、地域社会への貢献を図っている	

10-3 生活面における支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-3-1 住居支援を行っているか	4	ISI グループ直営の寮を、希望者に提供している	今後、賃貸物件の情報提供なども視野に入れ、支援の強化を図る
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5	留学生を中心にアルバイト指導を行っている。また、外部企業からの本学宛て求人情報を、ポータルサイト並びに学生ラウンジに掲示しているほか、アルバイト説明会も実施している	
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	4	交通事故が起きた際の対応手順が定められており、相談体制も整備されている	全教職員に対応手順の共有を進め、迅速な対応をおこなっていく
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	5	年に1度、定期的に健康診断を実施している	
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	5	学期毎に学生面談を行い、個々の状況を把握している。また留学生については、ビザ更新手続き時にも生活状況を調査している	
10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	4	留学生を中心にアルバイト先の在籍調査など裏付け確認を行っている	生活状況の変化に応じて、随時迅速な裏付け確認が行えるように努める

10-4 進路に関する支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	4	国家資格キャリアコンサルタント取得者がキャリア指導担当（進路指導担当）として 2 名配置され、専門的指導を行っている	低年次からのキャリア教育を推し進めていき、在学中からの充実したキャリア指導を定着する
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	4	キャリア指導担当（進路指導担当）が卒年次の進路希望を全員分把握し、個人に合わせた専門的アプローチの提案など指導担当者間で随時共有できる体制が整っている	キャリア指導担当（進路指導担当）の把握する情報を教職員間で共有するだけでなく、適宜学生の動向に合わせ、指導担当者以外からの情報共有できるよう努める
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	5	就職関連資料、社会情勢がわかる最新情報雑誌だけでなく、中国の経済動向もわかるニュースアプリなどタブレットでいつでも閲覧できる環境が整っている	
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	4	入学時より就職活動スケジュールを提示し、キャリア関連科目により一貫した指導を行っている	入学時からキャリアガイダンスや先輩達との就職活動情報交流会や職場体験など、低年次向けキャリアイベントを充実させる
10-4-5 HSK、JLPT 等の受験指導体制は整っているか	4	それぞれの科目において受験指導、対策練習を行う体制がある	留学生のキャリア育成強化のため、JLPT の指導強化を進めていくとともに、学生たちの取得意識を高めよう、教職員からの情報提供に工夫を重ねていく
10-4-6 大学院試験対策の指導体制は整っているか	4	卒年次前に大学院進学に向けたオリエンテーションを開催。複数の大学院指導ができる教職員がおり、指導を行っている	国内外の大学院進学指導の組織的な指導体制作りならびに学生へ向け進学情報発信する
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	4	キャリア担当職員により随時学生の要望に合わせた面談指導を対面型・オンライン型面談でいつでも指導が受けられる体制が整っている	外部機関とも連携を図りながら、企業による AI 面接導入に向けた指導など学内外から近年の採用動向に合わせた多様な指導体制づくりを構築する

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	5	担当職員は年に数回実施される入管協会等が主催する研修会に必ず参加。また入管局 HP 等を確認し最新の情報を収集、共有する体制がある	
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	5	新入生入学時、在校生は個人面談時に留学資格に関する注意事項の確認や伝達を行っている	
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	4	入学時や各学期の個人面談により確認した最新情報を本学学生管理システムにて管理共有をしている	在留情報に変更があった場合、速やかに情報を提供するように留学生たちへの促しを引き続き行っていく
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	4	学生の出席状況や学習生活状況を担任教員と事務職員で把握し、問題を抱えた学生について教職員が面談、改善指導を行っている。	問題を抱えた学生を早期に指導できるよう、教職員の情報共有、面談指導をさらに強化していく
10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを、継続的に行っているか	4	毎学期、個人面談、アルバイト調査、在留資格に関する指導を行い、不法残留者・資格外活動違反者・犯罪関与者を発生させないようにしている	学生面談やカウンセリングの機会をより多く設け、留学生の生活状況や不安について指導をすることで、不法残留者・資格外活動違反者・犯罪関与者を発生させないようにする
10-5-6 過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	3	資格外活動違反者や不法残留者の発生があったが、留学生の指導体制は確立されており、今後発生させないよう努めている	入試選抜、在籍管理をさらに強化し、資格外活動違反・不法残留者・犯罪関与者を発生しないようにする
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	4	帰国学生に対して、日本出国スタンプ、在留カード等の証憑提出を求め、帰国確認を行うとともに、確認書類を適切に管理している	帰国後に速やかに証憑の提出がされるよう、学生の指導を強化する

総括	課題及び改善内容
●学生支援 クラス担任・学年指導員と1 学生に対し 2 名の支援体制を敷くことで、生活面・学習面の幅広い支援が行えている。今後も体制強化を図り、全学生に一定水準以上の支援が行き届くようにする ●留学生管理 留学生の学習・生活状況を把握し、問題が生じる前にアドバイスや支援をしていることにより、資格外活動違反や不法残留者はほとんど発生していない。今後も定期的な状況把握、即時対応を徹底し、留学生が安心して学習できるよう支援体制を更に強化する	●在留手続き 関係官庁が必要とする留学生情報を整理し、在留手続き等がさらに正確に、迅速に行えるよう努めていく

第2 運営に関する事項

基準 11 教育成果

* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

11-1 成果の判定

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
11-1-1 進路及び卒業・修了判定が適切に行われているか	5	北京本校の規定に基づき、卒業・修了判定を適切に行っている。また判定過程において、北京本校による審査も行われている	
11-1-2 HSK、JLPT 等の外部試験結果を把握し、適切に管理されているか	5	HSK、JLPT の団体受験の結果は全て把握し、適切に管理している。また個人受験に関しても、学生ポータルサイトで随時申請を受け付け、管理している	

11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取り組みを行っているか	4	キャリア指導担当・事務局が中心となり、卒業生の状況把握に努めている	22 年度に発足した校友会の活動もあわせて、今後状況把握を進めていく
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	4	「進路決定届」の提出及びキャリア指導担当、担当教職員の面談により、卒業後の進路を把握している	帰国した留学生の母国での進路（就職・進学など）が把握できる体制の構築をすすめる

11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	4	本学キャリア教員・入試センター職員による就職先訪問、インタビューなどを実施し、状況把握を進めている	今後の卒業生増加にも対応できるよう、さらに効率的・効果的に把握できる体制・方法を整備していく
--	---	---	--

総括	課題及び改善内容
●卒業指導 卒業に向けて三年後期に卒業前オリエンテーションを実施し、学生の意識付けを図っている。また、四年次には、クラス担任・卒業論文指導教員・学年指導員から頻繁に卒業に関する情報提供や提出資料の確認を行っており、すでに卒業指導体制は確立されている。今後も随時微調整を加えながら、一貫性があり効果的な指導を継続していく。	●卒業生の把握 卒業後、時間の経過に伴い連絡不能となる卒業生が増えるが、卒業生同士のつながりから情報が得られる場合も少なくないため、校友会による動向調査を積極的に実施していく。また校友会と本学事務局が連携し、卒業生と在校生のつながりを構築、双方にとって有益となる交流を促進していく。

北京語言大学東京校の自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

北京語言大学東京校 自己点検・自己評価委員会 令和5年5月

校長 宋 紅芳

副校長 大沢 徹

教務主任 胡 敏男

教務副主任 畢 文涛

事務主任 竹島 奈歩

キャリア担当 濱崎あゆみ

入管担当 魯 小偉

入試担当 高橋 佑慈

入試広報 秋山 典千、菅井 史仁、山口奈津美